

新駅の設置について

1. 事業概要

えちぜん鉄道三国芦原線について、西別院駅、福井口駅間に新駅を設置し、三国芦原線の利便性の向上および福井駅を中心とする市街地の交流人口増大による活性化を図る。

2. 事業路線

えちぜん鉄道 三国芦原線

3. 事業期間

平成27年度

4. 事業費及び国費

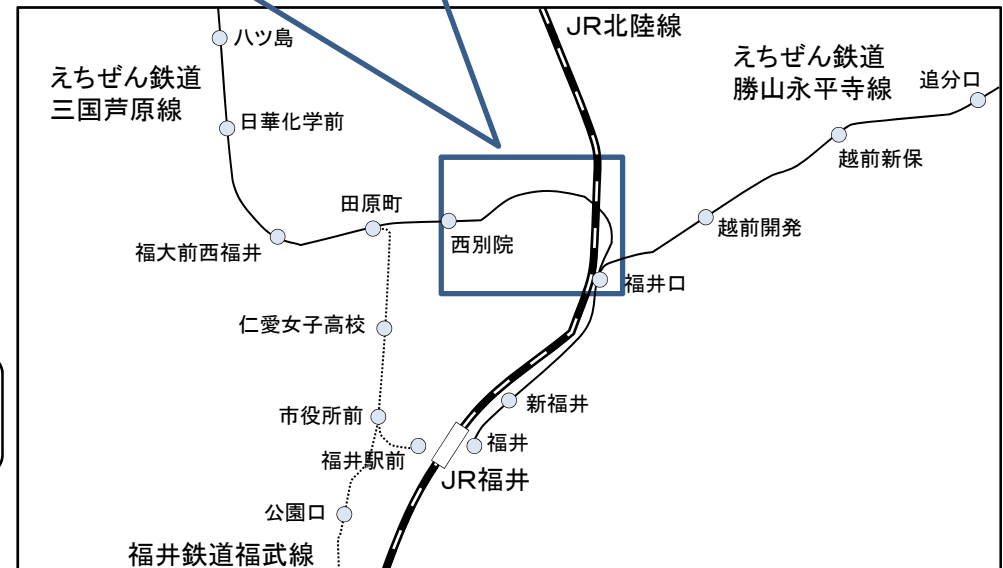
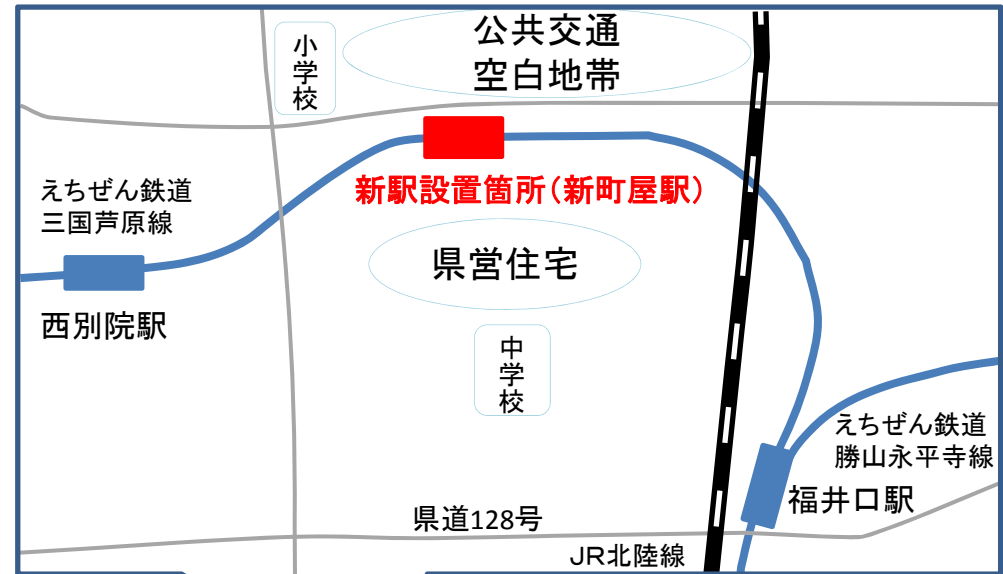
全体計画：事業費 40百万円

5. 事業内容

新駅の設置

※一体的に実施する利用促進施策

- ・福井駅西口中央地区再開発事業
- ・えちぜん鉄道・福井鉄道相互乗入事業等
- ・駐輪場の整備、新駅利用アンケート等による利用啓発活動



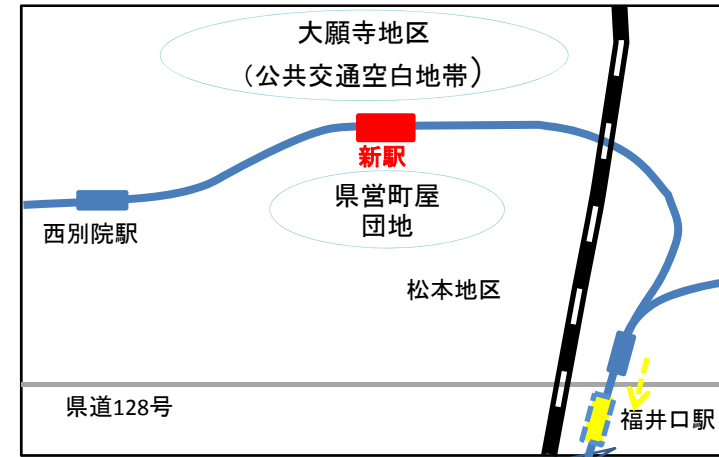
事業効果等について

新駅設置の効果

■新駅設置箇所南側には県営町屋団地(約500世帯、1,000人)があり、また、北側の大願寺地区は交通空白地帯となっており、周辺住民の新駅利用が期待できる。

■新駅から福井駅までは初乗り運賃(150円)で乗車できるため、中心市街地への誘引効果が期待できる。

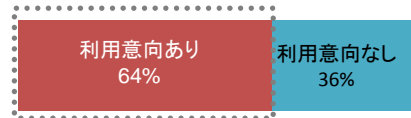
■えちぜん鉄道の高架工事に伴い、平成27年度に福井口駅仮駅が移転し、松本地区の利用者は、交通量の多い県道128号を横断しなければならなくなる。新駅から乗車することで、利用者が交通量の多い道路を横断する必要がなくなる。



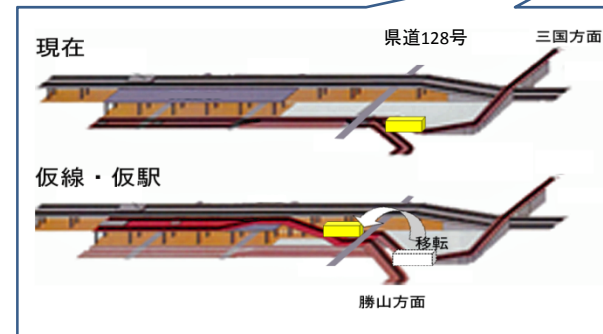
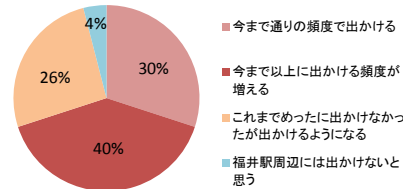
新駅周辺住民アンケート調査

■新駅の駅勢圏(半径500m)の全世帯に配布
配布枚数2,129票、回収枚数796票(37.4%)

新駅開業による利用意向



福井駅前への外出意向



【えちぜん鉄道三国芦原線新駅の利用者数(推計)】

		利用者数	
新駅	福井駅口からの転換	24,100人/年	70,500人/年
	西別院駅からの転換	24,800人/年	
	新規利用	21,600人/年	

(えちぜん鉄道(仮称)町屋駅の設置に係る費用便益分析調査より)

利用促進の取り組み

■駅利用環境の整備

新駅の設置に合わせて駐輪場の整備を行う。

■周辺住民への周知

新駅完成後、周辺住民に利用状況のアンケート調査を行うとともに、鉄道利用の啓発活動を行う。

平成26年度 えちぜん鉄道生活交通改善事業計画(鉄道軌道安全輸送設備等整備事業)

1. 事業の目的・必要性

現路線は京福電気鉄道株が大正3年に福井～勝山間の開業以来、福井県嶺北地方における公共交通機関網の主要な一翼を担っていましたが、近年のモータリゼーションによる利用者数減少や平成12年12月と平成13年6月の相次ぐ事故により、京福電気鉄道株の事業廃止届が出されるに至りました。その後、沿線の5市町(開業時は9市町村あり後の合併により現在の5市町)及び県は第3セクター方式による存続(永平寺線は廃止)を決定し、平成14年9月にえちぜん鉄道株が設立、平成14年11月7日に国土交通省中部運輸局に鉄道事業譲渡譲受認可申請を提出し、平成15年7月20日に部分開業、8月10日に三国芦原線 西長田～三国港開業、10月19日残る永平寺口～勝山まで開通し今日に至っております。

えちぜん鉄道株設立以来、国及び福井県の設備投資に関する大きな支援をいただきながら、重軌条化、変電所の改良(建替)、車両更新など多岐にわたる設備投資を実施してきました。京福電気鉄道株から譲渡された時点と比べ現在の保安度は向上しておりますが、上記にも触れている通り、開業年度が古い事に加え、事故以前から京福電気鉄道株は長期存続に消極的であり、設備投資や適切な施設維持管理が全くされていない状況であった為、今後も長期的に老朽設備の更新を進めていく必要があります。現状においても老朽・改修が必要な設備等は多岐にわたり、全てに対応していくには事業費の問題もあることから、財団法人鉄道総合技術研究所が平成21年度に調査し取りまとめた「施設等調査及び施設改修計画策定業務報告書」を参考に、車両等の更新なども合わせて、計画的な設備投資を実行します。これにより保安度の向上、ひいては安定した輸送を確保し公共交通機関の使命を全うしてまいります。

2. 事業の定量的な目標及び効果

当社においては経常赤字については沿線市町が補助を行っており(以下「欠損補助」という。)、開業した平成15年度には444百万であった経営支援補助が、平成23年度では198百万と約45%の削減を実現しております。また利用乗客数においても全線開通している平成16年度が2,425千人に対し平成23年度には約3,234千人と約25%増となっております。会社全体でのコスト削減を徹底して行ったことに加え、会社の営業活動と県・市町の利用乗客数増の施策実施(P&Rの整備、トイレ設備の更新・新設など設備投資含む)連携など、社会全体での様々な活動がコスト削減、利用乗客数増員に実を結びました。平成23年2月には、沿線市町はじめ連携協議会関係者が鉄道を社会資本と位置付け、経営自立と平成33年度の目標利用乗客数333万人を目指していく新しい鉄道存続の枠組みに合意いたしております。この合意に基づき、26年度以降も計画的に設備投資を行うことで、輸送確保また安全性向上を図り、地域に密着した欠かすことが出来ない公共交通機関を目指してまいります。

3. 事業の内容と当該事業を実施する事業者

別紙に記載

4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

平成26年度事業費(総額)	208,790	208,750	千円
負担額 国	: 69,542	69,583	千円(負担割合33%)
福井県	: 136,146	123,087	千円(負担割合 65 59%)
沿線市町	: 776	754	千円(負担割合 1%)
えちぜん鉄道	: 2,326	15,326	千円(負担割合 1 7%)

* 沿線市町 … 福井市、勝山市、坂井市、永平寺町、あわら市

5. 計画期間

別紙に記載

6. 協議会の開催状況と主な議論

- ・平成22年10月 4日(第1回) 協議会設立、規約等の承認、スケジュール確認
- ・平成22年11月25日(第2回) 現在までの様々な取組や実績確認、今後の進め方
- ・平成23年 6月17日(第3回) 鉄道存続に関する社会的妥当性の評価
- ・平成23年 7月26日 生活交通改善事業計画について各委員に説明を行い、現段階での計画として了承を得た。
- ・平成23年 8月17日(第4回) 連携計画内容(会社経営計画等)協議
- ・平成23年10月11日(第5回) 連携計画概要についての確認、今後のスケジュール確認
- ・平成23年11月 7日 生活交通改善事業計画の平成23年度事業内容の変更について説明を行い、了承を得た。
- ・平成24年 2月14日(第6回) 連携計画について協議会の了承を得た。
- ・平成24年 5月22日 生活交通改善事業計画について各委員に説明を行い、計画として了承を得た。
- ・平成25年 3月27日 生活交通改善事業計画について各委員に説明を行い、計画として了承を得た。
- ・平成26年 4月11日 生活交通改善事業計画について各委員に説明を行い、計画として了承を得た。
- ・平成26年10月 日 ~~計画変更について各委員に説明を行い、了承を得た。~~

(協議会の構成)

関係機関	えちぜん鉄道沿線サポート団体連絡会 特定非営利活動法人 ふくい路面電車とまちづくりの会 福井商工会議所
関係市町	福井市、勝山市、坂井市、永平寺町、あわら市
関係交通事業者	えちぜん鉄道株式会社
国	中部運輸局
県	福井県

えちぜん鉄道活性化連携協議会

平成26年 月 日

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画

事業実施事業者名：えちぜん鉄道株式会社

計画期間 10年

(単位:千円)

設備・保存費の区分	整備の概要	安全輸送設備整備実施年度										備考
		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	
信号保安設備	継電連動装置改良	39,000	勝山永平寺線 永平寺口駅 三国芦原線 西長田駅	0		0		0		0		
車両	車両更新	136,988	中古車両2両改造	0		0		0		0		
落石等防護設備	鉄道総研にて指摘された箇所について防護網等の対策を行う	3,015	勝山永平寺線 小舟渡～保田 石積をコンクリート補強	73,602	勝山永平寺線 越前竹原～小舟渡 格子枠工 排水設備の流末処理	7,200	勝山永平寺線 発坂～比島 線路側溝の新設	0		0		
レール	30kg、37kgレールを40Nレールへ更新	0		52,554	三国線1,524m 鷲塚針原～太郎丸 本荘～あわら湯のまち	59,622	三国線1,727m 大関～本荘	12,747	勝山線401m 松岡～永平寺口	3,823	勝山線110m 保田～比島	
マクラギ	腐食した木マクラギをPCマクラギへ更新、橋梁上は合成マクラギへ更新	0		3,237	三国線154m 鷲塚針原～太郎丸 本荘～あわら湯のまち	707	三国線11m 大関～本荘	17,648	勝山線841m 松岡～永平寺口	23,123	勝山線943m 保田～比島	
マクラギ	腐食した木マクラギを木マクラギへ更新【同種更替】	1,131	三国芦原線	7,000	勝山永平寺線 三国芦原線	7,000	勝山永平寺線 三国芦原線	7,000	勝山永平寺線 三国芦原線	7,000	勝山永平寺線 三国芦原線	
分岐器	30kg、37kgレールの大正分岐器を40Nレール分岐器へ更新	23,317	三国線2組 あわら湯のまち	0		13,700	勝山線1組 越前島橋	85,650	勝山線6組 松岡 永平寺口 山王	85,100	勝山線5組 新保、轟 発坂 三国線1組 西長田	
小計			203,451		136,393		88,229		123,045		119,046	

注)1. 「設備・保存費の区分」欄は「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に関する運用方針」別表の工事内容の区分又は鉄道事業会計規則に基づき記載すること。

2. 計画期間内において実施する設備整備がない場合は、「事業費欄」に「0」を記載すること。

3. 必要に応じて、対象設備の図面、写真等を添付すること。

設備・保存費の区分	整備の概要	安 全 輸 送 設 備 整 備 実 施 年 度										備考
		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	
軌道道床	川砂利(丸石)を使用した道床を砕石化へ更新	0		101,340	三国線2,415m 鷲塚針原～太郎丸 本荘～あわら湯のまち	74,308	三国線1,770m 大関～本荘	34,877	勝山線841m 松岡～永平寺口	32,529	勝山線784m 保田～比島	
橋りょう	腐食した沓座やアンカーボルトなどの補修	1,810	勝山永平寺線(1) 中間補剛材設置等	1,716	三国芦原線(1) 架け替え	620	三国芦原線(2) パテ補修 滞水対策など	1,084	勝山永平寺線(1) 三国芦原線(1) 防錆・断面補修 滞水対策など	5,375	勝山永平寺線(2) 三国芦原線(2) 有道床化など	
車両保存費	全般検査	3,489	6111号、6112号 6110号 3両	0		0		460	522号	5,715	7001号、7002号 6001号、6002号	
車両保存費	重要部検査	0		13,780	6001号、6002号 6101号、6102号 7005号、7006号	13,145	6103号、6104号 6105号、6106号 5001号	15,944	6107号、6108号 6109号、6110号 6111号	814	7011号、7012号	
小計		5,299		116,836		88,073		52,365		44,433		
総計		208,750		253,229		176,302		175,410		163,479		

* 信号保安設備(踏切関連等)、電路設備(CP柱化等)などは現在実施年度について協議中。

注)1. 「設備・保存費の区分」欄は「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に関する運用方針」別表の工事内容の区分又は鉄道事業会計規則に基づき記載すること。

2. 計画期間内において実施する設備整備がない場合は、「事業費欄」に「0」を記載すること。

3. 必要に応じて、対象設備の図面、写真等を添付すること。